

～ よりよい学校づくり（学校評価）のためのアンケート R1 集計結果より ～

1 教育目標について（主として生徒アンケートより）

中部中では、毎年の学校評価の結果を受け、「命の大切さや豊かな心のあり方」「将来を見据えた生き方」「防災や安全教育」等に、子どもたちをきちんと向き合わせられるように改善に努め、わかりやすい授業づくりを心がけてきました。

3年前からのアンケート結果を比較してみると、多くの質問で肯定的な回答をした生徒の割合が増加してきています。問3「学校へ行くのが楽しい」では、「とても思う」と回答した割合は、27%（H28）→35%（H29）→41%（H30）→46%（R1）と増加しており、「やや思う」を加えると、70%→81%→83%→84%と増加しています。多くの子どもたちが楽しく学校へ通えていることを、なによりも喜ばしく思います。その反面、「あまり思わない」「まったく思わない」と答えた生徒が16%おり、否定的な意見にも真摯に向き合って原因を探り、改善を続けていこうと考えています。

肯定的な回答が多い質問として、問20「地震や火災などの時、どうしたらよいか知らされている」（92%）、問19「先生はいじめや悪いことをした時はきちんと指導してくれる」（91%）、問10「中中生は、お互いの気持ちを大切にする」（86%）があり、命や友達の存在を大切にする姿勢を育てる指導の成果が表れていると感じます。また、問5～11の生活に関する質問で、どれもほぼ8割以上の生徒が肯定的な回答をしていることから、生活の充実ぶりがうかがえます。ただ、問7「部活動に積極的に参加している」に対しては、89%（H30）→84%（R1）と少なからず減少しています。部活動に関しては来年度から希望入部制が完全実施されることもあり、今後の推移や子どもたちの様子を見て、部活動の在り方や目的等を見直していく必要を感じています。さらに、問12「授業はわかりやすい」に対しては、「とてもそう思う」が37%（H30）→26%（R1）となっており、授業の進め方を検証し、改善をさらに進めていかなければならないと強く感じます。

2 家庭との連携について（主として保護者アンケートより）

例年と同様に、どのアンケート項目もおおむね肯定的な回答を得ており、中部中の教育活動へのご理解ご協力に感謝しています。

昨年度は一昨年度に比べて、全体的に「とても思う」が減って「やや思う」が増えている傾向がありましたが、今年度は全ての質問で「とても思う」の割合が増加しています。特に、問13「教職員は保護者の皆さんに誠意をもって接している」に対して「そう思う」との回答は36%（H30）→46%（R1）となり、「やや思う」と合わせると9割に達していることをとても喜ばしく思います。とはいえ慢心することなく、否定的な回答にも目を向け、さらに誠実に子どもたちとご家庭に向き合っていきたいと思っています。

3 おわりに

今年度も学校評価アンケートに多数の保護者の皆様のご協力をいただきありがとうございました。来年度以降も子どもたちが生き生きと生活し、自分の可能性を最大限に伸ばせるような魅力ある学校づくりをめざしていきたく思います。今後も、保護者の皆様、地域の皆様のご支援ご協力をよろしく願います。